

特ラ機構レポート No.166

平成 31 年 1 月 1 日

年頭の挨拶	2
平成 30 年度第 4 回 理事会 報告	4
最新の運用連絡・調整総件数	10
新規加入会員紹介コーナー	14
第 9 回 関西 (近畿広域圏)FPU・ラジオマイク懇談会 ..	16
InterBEE 2018 (国際放送機器展).....	19
マラソン、駅伝・イベントの情報	23
地上デジタル放送の高度化 (4K・8K) に向け 実証実験の電波を発射しています！	24
特ラ機構 第 18 回技術賞・受賞者のコメント	25
ちょっとブレイク	28
インフォメーション・公文協 「舞台技術者研修会 2019」	29
事務局 便り	32



明けましておめでとうございます。

皆さまお元気で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

度重なる大型台風の襲来、次々と引き起こされる河川の氾濫、山崩れ、記録史上最長の真夏日の連続と異常気象に悩まされた平成30年も終わり、新しい年がやってまいりました。

昨年一年は、事務局一同通常の運用連絡業務を果たしながら新体制へむけてラストスパートをかけるという、激務の一年間でした。そして本年、2019年はいよいよ新体制スタートの年であります。



特定ラジオマイクの周波数移行は既に昨年6月には完了し、新周波数帯での稼動を行っております。

また最大の課題であります新体制の組織・運営の在り方につきましては、一昨年いらい当機構・放送局・電波技術協会の関係三者間で様々に検討を重ねた結果、当機構の組織運営については従来通りとしつつもTVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会における「事務局機能の一体化」を進める、という方向でまとまりつつあります。

ラグビーワールドカップ2019、東京オリンピック・パラリンピックほか、スポーツイベントをはじめとする催事パフォーマンス等、今後特定ラジオマイクの需要は必然的に増大するものと思われます。

平成が終わり新しい元号の時代が始まる本年、特ラ機構は会員の皆さまからのご期待に沿い、ご要望に応えるべく業務に邁進してまいりますので、何卒よろしくご支援のほどお願い申し上げます。

皆さまにとりまして本年がより一層充実の年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



新春のご挨拶

(一社)特定ラジオマイク運用調整機構 理事長 渡邊 邦男



新年明けましておめでとうございます。

天災の多かった昨年、様々な思いを胸に、心新たに平成最後の元旦を迎えた方も大勢いらっしゃるでしょう。

今年の干支は「己亥（つちのとい）」、新たな出発に向けた準備をする年とも言われています。

新元号となる 2019 年は、特ラ機構事務局の体制を整えると共に、周波数移行が完了した特定ラジオマイク専用帯も含む TV ホワイトスペース帯および 1.2GHz 帯での運用体制の拡充を図る年として新たなスタートを切ります。

本年9月からは全国 12 の会場でラグビーワールドカップ 2019 が開催され、翌年には東京オリンピック・パラリンピック、そして 2025 年の大阪万国博覧会と、ラジオマイクが無くては成し得ない国際的な文化イベントが続きます。

特ラ機構で「運用体制の拡充」を旗印に、TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会の放送エリア会員も含めた、特定ラジオマイクを利用されている皆さまからお寄せ頂いた要望を実現させ、新周波数帯域での利便性を高めるとともに、公平で安全・安心な運用が継続できる体制作りに取り組んで参ります。

また、チャンネルリスト等の諸問題解決に向けても、総務省のご指導のもと官民一体となって努力を続けていく所存ですので、会員の皆さまの更なるご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

2019 年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



平成 31 年 1 月元旦

[理事会報告] 平成30年度 第4回 理事会

1. 日 時 平成 30 年 12 月 5 日(水) 15 時～ 17 時

2. 場 所 中野サンプラザ 6 階 フラワールーム

3. 出席者 (会長・理事長・理事・監事総数 23 名)

出席 [理事長] 渡邊邦男

[理 事] 石橋 透, 小野良行, 小俣公洋, 金光浩昭, 小林 敬, 小間新五,
鈴木久利, 津田浩之, 西澤勝之, 橋本喜代志, 橋本秀幸, 吉田廣嗣

[監 事] 伊藤 博, 國枝義久

委任出席 [会 長] 八幡泰彦

[理 事] 上田好生, 北口紀雄, 田中勝久, 則行正信, 萩原桂吾, 本間俊哉,
右田研介

4. 平成 30 年度 第 4 回理事会 開催挨拶 (理事長)

「年末のお忙しい中ご出席いただきまして有難うございます。今日の出欠は資料記載の通りですが、理事一名が遅れるという連絡が入っていますので、始めさせていただきます。

先ず初めに、事務局に職員が 1 名入局しましたので紹介いたします。10 月 15 日に入局したばかりのほやほやの新人、片川泰成君です。片川君は平成 4 年生まれの 26 歳、生まれも育ちも所沢です。私からの紹介はこのくらいにして……それでは片川君、自己紹介をしてください。」

(片川)「入局して 1 ヶ月半程でまだ間もないのですが、自分なりに勉強したりしています。音響と言うのが初めてで知識も無いので、土日の休みを使って少しでも理解できるように努めています。普段からものすごい数の運用連絡票が届くので、今はそれを必死で入力しているんですが、事務局では運用連絡の入力以外の仕事也多忙だという事を見聞きしていますから、早く力になれるよう努力していきたいと思っています。今後共どうぞよろしくお願い致します。」

「ぜひ可愛がって下さい、お願いします。」

「さて、平成 2 年から特定ラジオマイクとして使用されてきた 700MHz 帯も今年 5 月の周波数移行完了で幕を閉じることになりました。新周波数帯域はお陰様で順調に稼働していますが、運用に関してはまだまだ改善しなければならない事がありますし、会員にもホワイトスペースのチャンネルプランなど習得して頂きたい事がありますので、特定ラジオマイクを含む電波の勉強会等で理事の皆様の力をお借りしたいと思っています。また、ラグビーワールドカップでは、ベニユー(会場)内で使用する審判団やセレモニー、中継、報道関係の周波数調整以外に、会員に直結するベニユー外で行なわれる多様なイベントがあるので気が抜けない状況です。ラグビーワールドカップ、オリンピックとも、具体像が見えていないですが、今年度末には伝えられる情報があると思います。」

との新人紹介と挨拶があり、配布資料の確認後第 4 回理事会の開催となった。

5. 議 題

〔報告事項〕

(1) 運用連絡と調整の近況について 別紙資料にて説明(10～13頁参照)

別紙資料(a. 運用連絡数の推移 b. イベント報告 c. 干渉報告)にて10月、11月の動向を説明。

(2) 特ラ機構レポート

165号は平成30年10月31日(水)に発送済。166号は12月下旬の発送を予定している。内容は「理事会報告」、「Inter BEE 2018 報告記事」、「第9回近畿広域圏FPU・ラジオマイク懇談会報告記事」などを掲載予定。「ちょっとブレイク」は当機構片川新職員の記事を掲載する。

(3) 各委員会報告

① 賛助委員会

今期、賛助委員会は開催されなかった。

② 技術委員会

平成30年5月に総務省より問い合わせがあった、1.2GHz帯特定ラジオマイクと航空機搭載レーダーとの干渉実験について、再び総務省から連絡が入り、12月中にメーカーの技術担当者ならびに特ラ機構事務局員で実験を見学し、報告する予定。

③ 特ラ機構 技術賞委員会

平成30年11月から「2019年度第19回特ラ機構技術賞」の募集を開始した。

同日発行の「特ラ機構レポート165号」に募集開始の告知を掲載し、レポート発送時に募集案内と応募用紙を同封した。来年1月1日発行の166号にも募集中の告知を掲載する予定。

席上で推薦と応募を呼びかけた。

④ 編集委員会

平成30年11月22日(木)に第70回編集委員会を当機構事務局にておこなった。

出席者は5名。165号を振り返って反省点等を確認した他、166号への掲載記事の検討、記事の作成分担をおこなった。

(4) 総務省関係、ARIB関連の報告

① 総務省関連

平成30年10月22日(月)総務省移動通信課へTVWSチャンネルリスト新規案件11月分を申請した。チャンネルリストの次回更新は平成30年12月中におこなわれる予定。

② 各総合通信局関連

会員から免許申請の依頼を受けた際、当機構は電子申請アプリケーション『総務省 電波利用 電子申請・届出システム』を活用してインターネット上から申請をおこなっている。地方各総通局から、本アプリケーションが平成31年1月7日(月)から新しいものに変更される旨の連絡を頂いた。新アプリケーションは、旧アプリケーションで作成した電子申請データを読み込んで申請できるとのことで、申請に不具合が発生しないよう留意しつつ、当面は従来通りにて対応することとした。

③ ARIB 関連

平成30年11月27日(火)ARIBで行われた素材伝送班の会議に甲田テクニカルチーフが出席した。会議ではマイクロ波の作業班報告に加え、1.2/2.3GHz帯FPU4K・8K対応の高度化についての報告がおこなわれた。

(5) TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会（略称：WS 協議会）

① 統合 DB 作業班

平成 30 年 10 月 17 日(水)リンク情報システムに於いて行われた運用連絡システム関係者会議に担当の甲田が出席した。会議では平成 30 年度下期改修に関する事柄が議論され、FPU の高度化対応に関しては、離隔距離の見直しや混信判定の基準について、周波数の有効利用を見据えて次年度への継続検討とする旨を報告した。

② 協議会負担金の支払い時期や精算状況について

平成 27～28 年度の特ラ機構会員(新周波数帯にて入会の新規会員は除く)の免許取得分(移行分は除く)における免許登録費と運用調整費については、平成 30 年 11 月 8 日(木)付けで WS 協議会への支払いが完了した。これで平成 29 年度までの同協議会への支払いはすべて完了したことになる。

③ 第 9 回 関西（近畿広域圏）「FPU・ラジオマイク懇談会」

日 時：平成 30 年 11 月 29 日(木)

懇談会 15 時 00 分～17 時 00 分 懇親会 17 時 30 分～19 時 00 分

懇談会場所：大阪マーチャンダイズ・マート 2 階 会議室 203・204

懇親会場所：東天紅 大阪天満橋 OMM 店

平成 30 年 3 月に行われた関東広域圏の同懇談会に引き続き、WS 協議会との共催となった。また、放送局側のまとめ役として NHK 大阪放送局の協力を頂いた。近畿広域圏では 9 回目の開催となり、参加者は総務省近畿総合通信局、NHK 大阪放送局、在近畿民放各局、WS 協議会事務局、当機構の会員及び事務局で 31 名の参加であった。詳細については、『特ラ機構レポート』166 号に掲載する。

④ 第三十二回電波技術協会賞贈呈式典及び祝賀会 報告

平成 30 年 11 月 6 日(火)、ホテルメルパルク東京(東京都港区)にて電波技術協会が主催する「第三十二回電波技術協会賞贈呈式典及び祝賀会」が開催され、当機構事務局から石川が出席した。本式典では電波技術の振興発展に多大な功績を残した 9 名に表彰状などが贈呈された。

(6) 情報通信月間協議会報告

延期となっていた第 3 回運営連絡会が平成 30 年 11 月 9 日(金)、九段下に移転した情報通信月間推進協議会にて開催され、当機構事務局の武藤が参加した。

連絡会では今年度の総括をおこなった後、2019 年度「電波の日・情報通信月刊」記念式典を 2019 年 6 月 3 日(月)に開催することが発表された。通常なら毎年 6 月 1 日の「電波の日」に開催するのだが、生憎 2019 年の「電波の日」が土曜日に当たるため 6 月 3 日に変更して開催することになった。

(7) 平成 31 年度の再免許手続き

平成 31 年度の再免許手続きの進捗状況について、平成 30 年 10 月中旬に対象の 469 会員へ関係書類を送付した。回答や必要書類が事務局へ未着となっている会員については、個別に連絡をとって対応している。

(8) 名簿作成（名簿データ確認）の現況

平成 30 年度名簿調査用紙を平成 30 年 9 月 20 日(木)までに全会員へ送付して、変更ありと回答のあった会員については、随時、名簿修正をおこなっている。また、各放送局向けの調査用紙については、平成 30 年 10 月 30 日(火)に郵送を完了している。

(9) ITS 実験 (Intelligent Transport System)

トヨタ関係

- ・トヨタ自動車東富士研究所 ITS 実験場：平成 24 年 4 月から現在まで実験局の実験が継続中。
(平成 30 年 12 月末日までの実験計画書が提出されている)

デンソウ関係

- ・現在は実験をおこなっていない。
※ ITS 実験の中心周波数は 760MHz ± 5MHz となっており、特定ラジオマイクに不具合が発生した場合は実験を休止することになっている。

(10) ラグビーワールドカップ / 東京オリ・パラ組織委員会

今期、主だった進展は無かった。

(11) 地上 4 K・8 K デジタル放送の実験試験局運用について

平成 30 年 11 月 30 日(金) TV35ch を用いた名古屋市昭和区東山局ならびに愛知県弥富市鍋田局からの実験放送波について、ナゴヤドームならびに同周辺地区に於ける特定ラジオマイクの多チャンネル運用があったことから終日停波した。

尚、今後の実験スケジュールに関しては、年末年始も予定通り実施出来るよう調整をおこなっている。

(12) 短信、その他

① Inter BEE 2018

11 月 15 日(木)午後、甲田職員と片川職員が幕張メッセ施設課で情報交換を行い、その後、展示会場にてワイヤレス関連の製品を中心に見学をした。

11 月 16 日(金)は、坂入職員が関連知識習得のため、テクニカルセッション「画像と音響の国際標準化動向」を聴講した。

詳しくは次号の特ラ機構レポートにて報告予定である。

② ホームページ更新

平成 30 年 11 月の更新では、最新号の特ラ機構レポートなどの定期更新に加え、事務局員の部分に石川統括チーフおよび甲田テクニカルチーフの管理職表記と 10 月に入局した片川職員の追記を実施した。また、「地デジ 4K8K 実験試験局情報 (名古屋地区)」のページでは、平成 30 年 10 月 31 日(水)から東京地区でも実験試験局の電波発射が開始されたことに伴う文章内容の更新をし、ページタイトルから (名古屋地区) の表記を削除して「地デジ 4K8K 実験試験局情報」とした。

Q.「東京地区の実験試験局はどこからの電波発射になるのか？」

A. 放送大学が使用していた 28ch (6MHz 幅) を東京タワーから発射している。出力 1kw なので、運用に注意して欲しい。

③ 「JPPA AWARDS 2019」後援名義使用許可

平成 30 年 11 月 21 日(水)、(一社)日本ポストプロダクション協会から、第 23 回「JPPA AWARDS 2019」への後援名義使用許可の依頼書が届いたため、これを承認した。

(13) 八幡会長の近況

平成 30 年 12 月 28 日(金)の仕事納めの日に、業務報告を兼ねて事務局メンバー全員で伺う予定を立てている事を報告した。

【審議事項】

(1) 会員の入退会 平成 30 年 10 月～平成 30 年 11 月分

[入会]

北海道：JR 北海道ホテルズ株式会社（JR タワーホテル日航札幌）

東 北：株式会社ボイス

関 東：株式会社 CROSS POINT, 株式会社ケー・エクスプレス（マウントレニアホール 渋谷プレジャープレジャー），ソニー株式会社（Sony City 5F PORT），株式会社 3 6 0，株式会社アフターフィット，田中 慎也，アークベル株式会社（有明スクエア），電音エンジニアリング株式会社（東京ステーションホテル）東 海：有限会社 origami

東 海：有限会社ハイ・ポジション

近 畿：ナックルポート株式会社，宗教法人誠成公倫，有限会社 SOUND DIQ，クールジャパンパーク大阪株式会社（クールジャパンパーク大阪），株式会社 P.A.F，椿原 茂

沖 縄：有限会社ステージング・オキナワ

[退会]

関 東：府中市（府中グリーンプラザ），宗教法人もののみの塔聖書冊子協会（エホバの証人の栃木大会ホール）

(2) 会員数

平成 30 年 11 月末現在 1,304 会員

(3) 無線局数

平成 30 年 11 月末現在 43,836 局

内 訳

① 470 ～ 714MHz

ラジオマイク 34,358 局

イヤモニ 2,522 局

② 1.2GHz 帯

ラジオマイク 6,956 局

合 計 43,836 局

(4) 「JPPA AWARDS 2019」 援助金の協力依頼

協力団体でもある、（一社）日本ポストプロダクション協会主催の「JPPA AWARDS 2019」が開催される。開催に向けて毎年援助金を協力している旨を報告し、2019 年の援助金支払について承認を得た。

報告・審議後

1. 周波数移行の際にチャンネルリストを取れなかった施設について

事務局より説明

現在のチャンネルリスト取得費用は申請者負担である。シミュレーション（机上計測）なら 80,000 円弱で可能だが、運用可能 TVch である“丸”が取れない、あるいは希望より少ない場合は実測でのチャンネルリスト取得になる。その場合は作業員の交通費等も含み費用がかかる。しかしながらラジオマイクの使用が不可となれば、劇場・ホールには死活問題なので、負担減を考えたい。

会員が希望する施設のチャンネルリスト取得費用を機構から捻出し、負担する選択肢もある。

未取得のチャンネルリスト問題の他に、訂正しなければならないリストが増えている。

劇場・ホールの閉館で不要なチャンネルリストは今後増えていくだろうし、施設名称の変更や緯度・経度設定の間違いなどもある。

総務省では、日常的に台帳を直す事がおこなわれておらず、現在、機構（協議会）が訂正するよう依頼されているので、訂正方法を考えていく。

具体的には、協議会のデータベースを変更し、年に 2 回総務省の台帳を変更する事になる。

2. TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会負担金の精算完了

Q. 精算は予算に計上されていた通りにおこなわれたのか、又何故精算金が発生したのか？

A. 協議会への支払いの内、移行には関わらない新規分が機構負担として残り、協議会との摺合せもあり、直ぐの支払いは不可能だった。

協議会とは、未払い分の会員数や局数の整合性について時間をかけて摺合せをおこない、平成 30 年度予算に計上したので、予算通りに精算した。

平成 29 年度までの精算が済んだので、今後は各年度の支払いになる。

次回理事会（予定）

日 時 : 平成 31 年 2 月 6 日(水) 15:00 ~ 17:00

場 所 : 中野サンプラザ 6F フラワールーム

協力団体

（公社）日本演劇興行協会

（公社）日本芸能実演家団体協議会

（一社）日本舞台音響家協会

（一社）日本ポストプロダクション協会

（一財）電波技術協会

日本舞台音響事業協同組合

（協）日本映画・テレビ録音協会

TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会

〔添付資料〕

30-4-01_ab,c 最新の運用連絡と調整の総件数・イベント報告・干渉報告

30-4-02 「JPPA AWARDS 2019」後援名義使用許可依頼・許諾書

30-4-03 「JPPA AWARDS 2019」開催援助金協力依頼

運用連絡と調整の総件数

2018年10月～11月

理事会資料 30-4-01a

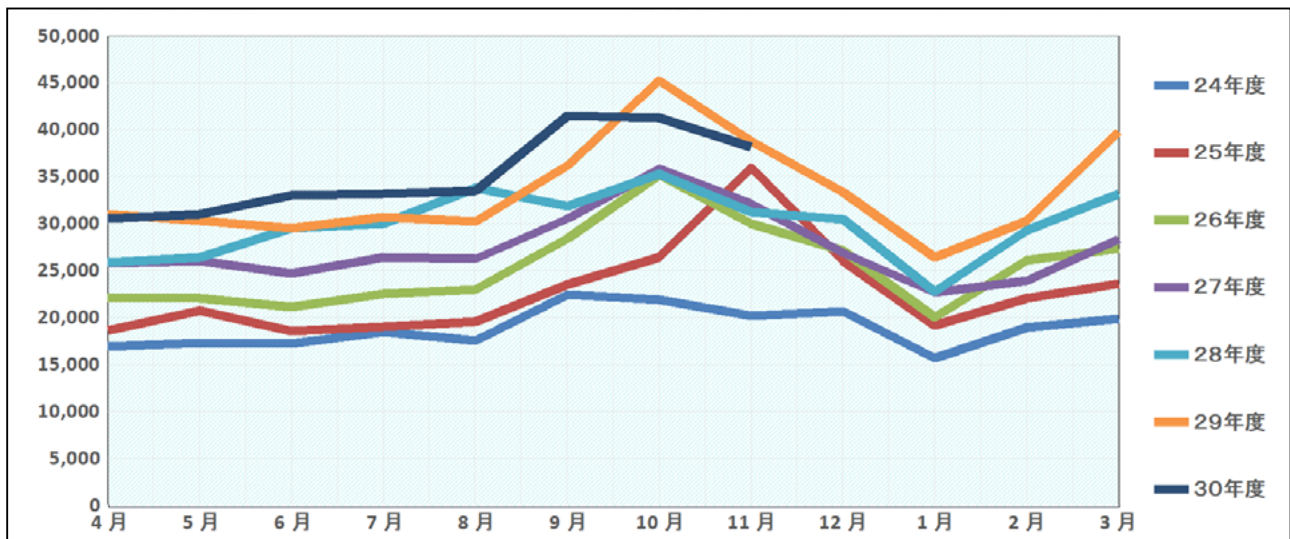
1. 最新の運用連絡・調整総件数（現行と新周波数帯）

各年度月別運用連絡・調整総件数

2018.12.03 現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
24年度	16,962	17,349	17,241	18,505	17,587	22,472	21,945	20,251	20,702	15,721	18,947	19,929	227,611	18,968
25年度	18,692	20,724	18,619	19,034	19,591	23,545	26,458	35,978	26,087	19,180	22,080	23,610	273,598	22,800
26年度	22,117	22,048	21,117	22,575	23,028	28,445	35,228	30,007	27,148	20,058	26,165	27,365	305,301	25,442
27年度	25,820	26,057	24,741	26,402	26,310	30,586	35,837	32,149	26,878	22,670	23,948	28,412	329,810	27,484
28年度	25,906	26,434	29,533	30,042	33,798	31,895	35,280	31,229	30,446	22,801	29,352	33,214	359,930	29,994
29年度	30,998	30,364	29,530	30,740	30,248	36,274	45,276	38,766	33,329	26,406	30,360	39,843	402,134	33,511
30年度	30,545	31,053	33,060	33,238	33,549	41,522	41,272	38,187						

各年度月別運用連絡・調整総件数の推移



2. 現行周波数帯の運用連絡・調整総件数

各年度各月別運用連絡・調整総件数

2018.12.03 現在

現行	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
24年度	16,962	17,349	17,241	18,505	17,587	22,472	21,945	20,251	20,702	15,721	18,947	19,929	227,611	18,968
25年度	18,692	20,724	18,619	19,034	19,591	23,545	26,458	35,978	26,087	19,180	22,080	23,610	273,598	22,800
26年度	22,117	22,048	21,117	22,575	23,028	28,445	32,370	27,277	24,323	17,557	23,285	21,999	286,141	23,845
27年度	19,408	19,144	16,944	17,433	16,050	19,315	21,702	19,445	15,748	11,171	10,619	10,320	197,299	16,442
28年度	6,745	5,949	5,169	4,365	4,381	4,249	4,180	3,124	2,708	1,474	2,344	1,697	46,385	3,865
29年度	798	574	476	573	398	487	407	261	251	35	8	13	4,281	357
30年度	12	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

※ H30 年 4 月～6 月の運用連絡・調整総件数は全て実験試験局（ラグビー審判団用）です。現行周波数帯は H30 年 5 月末を以て周波数移行を完了しました。

3. 新周波数帯の運用連絡・調整総件数

各年度各月別運用連絡・調整総件数

2018.12.03 現在

新	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
26年度							2,858	2,730	2,825	2,501	2,880	5,366	19,160	3,193
27年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29年度	30,200	29,790	29,054	30,167	29,850	35,787	44,869	38,505	33,078	26,371	30,352	39,830	397,853	33,154
30年度	30,533	31,047	33,057	33,238	33,549	41,522	41,272	38,187						

4. 当期 (H30 年 10 月～ 11 月) と前年同期 (H29 年 10 月～ 11 月) の 運用連絡・調整総件数の比較

(1) 現行周波数帯と新周波数帯の運用連絡・調整総件数

現行周波数帯では前期に比して 668 件の減

新 周波数帯では前期に比して 3,915 件の減

全ての周波数帯域では 4,583 件の減であった。

(2) 連絡件数と調整総数の比率

前年同期は運用連絡件数の 1.66 倍という調整総数だったが、当期は 1.39 倍であった。

5. 特定ラジオマイクが運用された主なイベント (2018 年 10 月～ 11 月)

イベント名	日 程	施 設	運用 社数	ブース数	マイク・イヤモニ			計
					TVWS	TVWS 711-714	1.2GHz	
TOKYO PACK 2018 他	10/2 - 10/5	東京ビッグサイト	11	12	14	9	17	40
国際福祉機器展 2018 ※	10/10 - 10/12	東京ビッグサイト	18	26	56	8	28	92
ビューティーワールドジャパンウエスト	10/15 - 10/17	インテックス大阪	6	6	10	4	11	25
CEATEC JAPAN 2018 ※	10/16 - 10/19	幕張メッセ	19	32	59	4	42	105
World Robot Summit 2018 ※	10/17 - 10/21	東京ビッグサイト	14	28	76	4	37	117
SMILE∞DAY 2018	10/26 - 10/27	パシフィコ横浜	1	3	18	4	0	22
日本国際工作機械見本市 ※	11/1 - 11/6	東京ビッグサイト	14	21	22	2	54	78
関西総務・人事・経理ワールド	11/7 - 11/9	インテックス大阪	4	4	2	1	19	22
東京ネイルエキスポ 2018	11/11 - 11/12	東京ビッグサイト	4	4	16	0	6	22
Inter BEE ※	11/14 - 11/16	幕張メッセ	21	25	47	14	54	115
Japan Home & Building Show ※	11/20 - 11/22	東京ビッグサイト	8	15	0	2	27	29
大阪マラソンEXPO	11/23 - 11/25	インテックス大阪	5	5	16	2	5	23

運用局数 20 局以上を表記 ※周波数配分イベント

表 1

2018 年 10 月から 11 月の 2 ヶ月間に、主な施設で特定ラジオマイクが運用された催事は、124 件（コンサート・握手会を除く）ありました。昨年は 82 件でしたのでイベント件数は増加しました。

小規模な催事が軒をつらねて件数になっている状態が続いています。その中でラジオマイクが 20 局以上のイベントを表記しました（表 1）。イベント名の後についている「他」は単独催事ではなく、数件の催事が同時開催されたものです。※印の催事では事務局にてチャンネルプランを組み、周波数配分をしました。

例年この時期は「国際福祉機器展」「CEATEC JAPAN」「World Robot Summit」「Inter BEE」等、規模の大きい催事が開催されます。各催事共、昨年並みあるいは、昨年より使用局数を増加して開催されました。

以下、周波数配分を行ったイベントの詳細報告です。

6. イベント報告 周波数配分

理事会資料 30-4-01b

『国際福祉機器展 2018』 東京ビッグサイト東 1-8 ホール

1.2GHz 帯 8 社 28 局であったが、早い段階から NHK 制作技術より番組取材のリクエストを受けていたため周波数配分も早めにおこなった。

『CEATEC JAPAN 2018』幕張メッセ ホール 1-7

TVWS 帯 10 社 59 局、専用帯 4 局、1.2GHz 帯 8 社 40 局 + NHK2 局 合計 105 局 TVWS 帯はアナログ、デジタルが会場内で上手く分散されプランしやすかった。当初 1.2GHz 帯も各ブースでの運用局数が少なかったが、追加申請などもあり最終的には NHK の 2 番組取材 2 局を含む計 42 局に周波数を配分した。

『World Robot Summit 2018』他 複合展 東京ビッグサイト東 1-8 ホール

複合展特有の搬入日の違いや開催期間も異なることから TVWS 帯の周波数プランについては、World Robot Summit 2018 のメインステージを担当された有限会社サウンドアクションの基本プランを軸に他のブースへの配分を考慮した。

1.2GHz 帯については NHK News room Tokyo 2 局、NTV News every 2 局を含む計 37 局に周波数を配分した。

『JIMTOF2018 (第 29 回日本国際工作機械見本市)』東京ビッグサイト東 1-8、西 1-4 ホール

1.2GHz 帯 東 6 社 48 局、西 6 局 2 社 6 局 計 54 局の周波数配分を行ったが、ホール 8 DMG MORI ブース 20 局の多チャンネル運用が影響した。

『Inter BEE 2018 (国際放送機器展)』幕張メッセ ホール 1-8、EVH

TVWS 帯 6 社 47 局 1.2GHz 帯 8 社 54 局に対して周波数配分をおこなったが固定会員でもある幕張メッセの国際会議場の運用周波数を確認して、干渉等が発生しない様ホール 8 の運用周波数を調整した。

『Japan Home & Building Show 2018』他 展示会 東京ビッグサイト東 1-8

1.2GHz 帯 7 社 27 局 各ブースに於ける運用局数は多くなかったが、会員社が 7 社であることと、搬入日、仕込み調整が 18 日(日)、19 日(月)の申請が多かったため、早めに周波数配分をおこなった。

以上

7. 干渉報告

理事会資料 30-4-01c

1. 平成 30 年 10 月 1 日(木)、TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会事務局から連絡があった。それによると、平成 30 年 9 月 1 日(土)山形県西置賜郡飯豊町で行われたイベントにおいて、山形放送が運用する 1.2GHz 帯特定ラジオマイクに、山形県内 A 社が運用するラジオマイクが干渉したとのことであった。

A 社は当機構の会員ではないため、事実関係を確認すべく、10 月 23 日(火)同協議会事務局の平嶋氏と当機構甲田の 2 名で A 社を訪問し、同社社長に状況を伺った。干渉のあった 9 月 1 日に運用していたラジオマイク機器は、A 社の協力会社である鳥取県内 B 社が免許人となっている 1.2GHz 帯特定ラジオマイク 6 局であったとの回答を得た。A 社に対しては、運用調整の重要性を説明の上、ご理解頂くよう重ねて

お願いをした。

翌 10 月 24 日(水)には山形放送を訪問し、A 社とのやり取りを報告した。

同日帰京後、当機構会員でもある B 社にはメール文章の扱いで、「機器貸し出しに伴う特定ラジオマイクの運用は、免許人が責任を持ってその運用を把握し、当機構に運用連絡票を提出する責務がある」旨を伝えた。

2. 平成 30 年 11 月 2 日(金) 11 時 30 分過ぎ、鹿児島城山観光ホテル（鹿児島県鹿児島市）を担当する株式会社バンケット・プランニングの上柳氏から当機構へ連絡があり、「11 月 1 日から運用していた 1.2GHz 帯（1248.750MHz と 1251.825MHz の 2 波）の特定ラジオマイクに混信のトラブルが発生した」との報告を受けた。

上柳氏によれば、混信のあった当日に同ホテル周辺でイベントが開催されており、当該地区放送事業者の取材チームによる 1.2GHz 帯特定ラジオマイクの運用が行われていたとのこと。上柳氏が同放送事業者から「運用調整の連絡を受け取っていないが、どうなっているのか？」と問い合わせたところ、「放送事業者間でのローカルルールを基に、放送事業者同士でプランを作成して特定ラジオマイクを運用している。運用調整システムへの入力処理はしていない(※)」との返事であった。

※運用調整システムについて、当機構会員の運用連絡は当機構事務局が一括して入力処理しているが、放送事業者は直接アクセスして入力処理をしている。

これらの報告を受け、当機構は TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会事務局へ連絡。同協議会事務局から当該地区放送事業者へ問い合わせたところ、幹事社である鹿児島読売テレビに連絡を入れて、地域での会合で報告するとの返答を得た。

その結果、11 月 8 日(木)、混信のあった当日に放送事業者の取材チームとして特定ラジオマイクを運用していた当機構会員でもある番組制作会社から当機構事務局へ連絡があり、「これまで放送事業者から依頼を受けた番組取材での運用について、その運用調整は放送事業者任せであった。今後は、免許人である番組制作会社が責任を持って特ラ機構へ運用連絡票を提出するよう、放送事業者から通達を受けた」との報告を受けた。

また、当該地区放送事業者から「今後は運用調整システムへの入力処理を徹底する」という回答があった旨、同協議会事務局から当機構へ報告があった。

3. 平成 30 年 11 月 19 日(月)、株式会社長野舞台の小林氏から連絡があり、「平成 30 年 11 月 11 日(日) 16 時頃、ホテル国際 21(長野県長野市)にて運用していた TV ホワイトスペース帯の特定ラジオマイク(695.775MHz)に音声途切れる干渉があった」との報告を受けた。

11 日の同ホテル周辺における特定ラジオマイクの運用状況について、運用調整システムにて調査を行ったが、隣接する他の無線局の運用は確認できなかった。

以上

新規加入会員紹介コーナー

平成 30 年 9 月～ 10 月

関 東

●東京急行電鉄株式会社（渋谷キャスト）

会員番号 030-0917

代表取締役 高橋 和夫

入会：平成 30 年 9 月 19 日 固定

シユア…9 局

〒 150-0002 渋谷区渋谷 1-23-21

運用担当者 高村 弘幸

TEL03-5468-5088 E メール technical@hikarie-hall.jp

●株式会社ハーツ

会員番号 030-0918

代表取締役 山本 宏仁

入会：平成 30 年 9 月 20 日 移動

シユア…6 局

〒 135-0053 江東区辰巳 3-7-26 サンイースト辰巳 2 階

運用担当者 服部 健

TEL03-6457-0777 E メール hattori@hearts-inc.com

●株式会社RTT

会員番号 030-0919

代表取締役 鈴木 源太郎

入会：平成 30 年 9 月 21 日 移動

シユア…12 局

〒 158-0084 世田谷区東玉川 2-31-20

運用担当者 中西 凌也

TEL 080-9648-1879 E メール nakanishi@rt-time.com

【ひとこと】弊社が行う現場数は年間 300 件以上です。

屋内屋外問わず大小様々なイベントに音響設備を設置させて頂いております。

●株式会社コンベンションリンケージ（浜松町コンベンションホール）

会員番号 030-0920

代表取締役 平位 博昭

入会：平成 30 年 9 月 25 日 固定

シユア…16 局

〒 105-0013 港区浜松町 2-3-1

運用担当者 井田 一治

TEL 03-6432-4075 E メール ida@c-linkage.co.jp

●株式会社昭栄美術

会員番号 030-0921

代表取締役 小林 利昭

入会：平成 30 年 9 月 28 日 移動

シユア…8 局

〒 279-0024 浦安市港 76-3

運用担当者 落合 慶生

TEL 047-305-4915 E メール ochiai-y@shoei-bijutsu.co.jp

●株式会社 CROSS POINT

会員番号 030-0922

代表取締役 岩田 征樹

入会：平成 30 年 10 月 1 日 移動

シユア…4 局

〒 150-0046 渋谷区松濤 1-4-9

運用担当者 岩田 征樹

TEL 03-6416-8477 E メール kuma@crosspoint-enta.co.jp

●カトープレジャーグループ

会員番号 030-0923

株式会社ケー・エクスプレス（マウントレーニアホール 渋谷プレジャープレジャー）

代表取締役 加藤 友康

入会：平成 30 年 10 月 9 日 固定

シユア…2 局

〒 150-0043 渋谷区道玄坂 2-29-5 渋谷プライムビル 6F

運用担当者 老田 隆

TEL 03-5459-5050 E メール oita@kpg.gr.jp

●ソニー株式会社 (Sony City 5F PORT)

会員番号 030-0924

代表取締役 吉田 憲一郎
〒108-0075 港区港南 1-7-1

入会：平成 30 年 10 月 29 日 固定

ソニー…10 局

運用担当者 橋本 征義

TEL 050-3807-5127 E メール masayoshi.hashimoto@sony.com

●株式会社360

会員番号 030-0925

代表取締役 山田 尚弥
〒142-0063 品川区荏原 1-3-19 1F

入会：平成 30 年 10 月 31 日 移動

ソニー…2 局

運用担当者 山田 尚弥

TEL 03-6426-6669 E メール 360@san6maru.com

東 海

●有限会社 origami

会員番号 060-0132

取締役 松浦 康人
〒515-0018 松阪市京町 1 区 30-3

入会：平成 30 年 9 月 10 日 移動

シュア…10 局

運用担当者 松浦 康人

TEL 0598-30-5230 E メール matt@origamisollasido.com

●有限会社ハイ・ポジション

会員番号 060-0133

代表取締役 林 繁良
〒501-0231 瑞穂市野白新田 119-4

入会：平成 30 年 10 月 22 日 移動

ソニー…2 局

運用担当者 林 繁良

TEL058-327-1005 E メール info@hi-position.jp

【ひとこと】放送局関係の音声、イベント等の音響及び企画運営の業務を行っております。
社屋内には、MAスタジオ・映像編集スタジオ・音楽制作スタジオを完備しております。

近 畿

●ナックルポート株式会社

会員番号 070-0291

代表取締役 常澤 泰伸
〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-26 天神第 1 ビル 7F

入会：平成 30 年 10 月 23 日 移動

シュア…6 局

運用担当者 甲斐 総司

TEL06-6886-1377 E メール kai@knuckleport.com

九 州

●中尾 一哲 (チャチャタウン小倉)

会員番号 100-0088

中尾 一哲
〒802-0014 北九州市小倉北区砂津 3-1-1

入会：平成 30 年 9 月 28 日 固定

シュア…8 局

運用担当者 中尾 一哲

TEL090-7153-6202 E メール office.n335@jcom.home.ne.jp

第9回 関西(近畿広域圏) FPU・ラジオマイク懇談会



平成 30 年 11 月 29 日(木)大阪マーチャンダイズ・マート(大阪府大阪市)にて、「第 9 回 関西(近畿広域圏) FPU・ラジオマイク懇談会」が行われた。今年 3 月に行われた関東広域圏の同懇談会に引き続き、TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会(WS 協議会)との共催となった。また、放送局側のまとめ役として NHK 大阪放送局の協力を頂き、参加者は総務省近畿総合通信局、NHK 大阪放送局、在近畿民放各局、WS 協議会事務局、当機構の会員・事務局職員など合計 31 名となった。

本懇談会の目的は、特定ラジオマイクと FPU(テレビ放送用の無線中継伝送装置)について、旧 700MHz 帯において同じ周波数を共用していたことから、それぞれの運用者同士が相互理解を深めるために平成 13 年から実施している。周波数移行後の現在は 1.2GHz 帯において、相互に隣接した周波数で運用していることから、引き続いての懇談会開催となった。毎年、春には関東で行われ、秋には隔年ごとに近畿と中京で実施している。

冒頭、渡邊理事長から挨拶があり、「周波数移行後の新しい周波数帯において、より安全で安心して運用できるものとしたい。これからラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックなど大イベントが続いていく。これから先、どのようにしていくのがよいのかご意見を伺いたい」と述べた。続いて、WS 協議会事務局長の加藤千早さんから挨拶があり「WS 協議会は放送



冒頭の挨拶をする渡邊邦男 当機構理事長(写真左)と加藤千早 WS 協議会事務局長



WS 協議会の役割と運用調整方法を解説する同協議会事務局の平島 茂さん



1.2GHz 帯ラジオマイクとFPU の運用現況について紹介する甲田乃次 当機構 GR



放送局側の出席者からは運用調整システムを入力する上での質問やご意見を頂いた（テレビ和歌山の前川倫紀さん）

事業者も会員として参加して頂きながら、平成 26 年から運用調整を始めている。発足時、全国各地へ説明に回らなかったがうまくいかなかった。遅ればせながら、今回はよい機会を設けられた」と述べた。

参加者の自己紹介の後、WS 協議会と特ラ機構による講演が行われた。概要は以下の通り。

「TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会の役割」 WS 協議会：平島茂

- ・TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会の概要
- ・運用調整コンピュータシステムを用いた運用調整方法
- ・運用調整の仕組み など

「1.2GHz 帯ラジオマイクとFPU の運用現況」 特ラ機構：甲田乃次

- ・1.2/2.3GHz 帯 FPU の高度化（4K・8K 対応）について
- ・1.2/2.3GHz 帯の周波数の使用状況
- ・1.2GHz 帯特定ラジオマイクの局数の推移
- ・展示会などの多チャンネル運用についてなど

講演後の意見交換では、以下のような質問や話題が組上に載せられた。

- ・運用調整システムに入力する際の対応ブラウザ
- ・ロケ取材時の運用調整システムの入力方法
- ・『TVWS チャンネルリスト』の維持・管理
- ・『特ラ機構レポート』に掲載の「干渉報告」について



来賓の挨拶を頂いた総務省近畿総合通信局の阪本 勝さん（写真左）と亀本和代さん

最後に来賓挨拶として、総務省近畿総合通信局無線通信部陸上第三課の阪本 勝さんから挨拶があり、「運用調整によって混信事故が未然に防がれている。その重要性を再認識した。円滑な調整のため、WS 協議会と特ラ機構に協力してほしい。また、12 月から再免許申請の受付が開始となる。余裕をもって手続きをしてほしい」と述べた。

懇談会終了後には懇親会を行ない、日頃、特定ラジオマイクや FPU を運用する中で気付いたことなど、率直な意見交換を行うことができた。

両事務局としても近畿地区の現場の声を伺うことができ、意義のある懇談会となった。



懇談会終了後に場所を移して懇親会となった



懇親会にて挨拶を頂いた
NHK 大阪放送局の大沼雄
次さん



乾杯の発声は合同会社
ユー・エス・ジェイの岩本
貴博さんに頂いた

特ラ機構と WS 協議会について

TV ホワイトスペース帯や 1.2GHz 帯は、特定ラジオマイクやエリア放送、FPU など様々な無線システムで共用している。これら異なった無線システム間の運用調整を行うため、平成 25 年、現在の「TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会」が設立された。同協議会は、当機構や放送事業者、エリア放送事業者、その他関係団体などで構成されている。

当機構は、WS 協議会事務局のラジオマイク等運用調整担当として機能しているほか、会員として同協議会に加入している。特定ラジオマイクの免許人である当機構会員は、当機構を通して WS 協議会へ団体加入しているというかたちになる。

● Inter BEE 2018 (国際放送機器展) ●

平成 30 年 11 月 14 日(水) ～ 11 月 16 日(金) 千葉市
美浜区 幕張メッセにて開催された Inter BEE2018
(国際放送機器展) を見学して参りました。多くの
の会員も参加された国内最大の放送機器関連のイ
ベントでもあり、海外からも多くのエンジニアが集
まりました。

今回その中でも特にワイヤレス関連等気になっ
たものをご紹介します。 (甲田)



ゼンハイザージャパンブース
【SK6212】送信機もまた一
段と小型化されています。

(左)

【EK2000 IEM】イヤモニター
も新機種が発表されました。

(右)



日本テックトラストブース

WISYCOM 光伝送用ユニットシステム 大型スタジアムの設備であるとか複合施設などの多様なイベントで求
められるものでしょう。送信機も 2 ピースタイプの種類が増えました。



Panasonic ブース

1.9GHz 帯の新機種を展示



Shure Japan ブース

AXT DIGITAL 最上位機種 of ADX SERIES を展示。
多くのエンジニアが足を止めていた。



タムラ製作所ブース

1.9GHz 帯インカムを展示、放送局のスタジオ設備を
中心に問い合わせが増えているとの事。



ビーテックブース

LaON Technology 社 5GHz 帯デジタルワイヤレスイン
カムを展示、オーディオクオリティーは 7.2KHz、PHS
の音声品質と同等。



SONY ブース

全指向性ラベリアマイクロフォン「ECM-90 シリーズ」
を展示、2 枚構成のダイアフラムを採用するなかで、
大幅な振動ノイズのカットと小型、防滴性能を実現。



オーディオブレンズブース

beyerdynamic 1.9GHz 帯 デジタルワイヤレスコミュ
ニケーションシステムを展示、国際会議や学校、工
場見学でニーズがありそう。



オーディオテクニカブース

TVWS 帯新製品を展示



アプローズシステムブース

1.9GHz 帯キャッチミー（送り返し）システムを展示



INTER BEE EXPERIENCE

マイクロフォン試聴体験、ヘッドフォン試聴体験展示には多くの方々が立ち寄られて比較、検討される姿が目映った。

■ INTER BEE FORUM 2018 テクニカルセッション「画像と音響の国際標準化動向」

11月16日(金) 15:00～17:00 国際会議場 2階「201」にて、下記の2つのテクニカルセッションを関連知識習得の一環で聴講しました。
(坂入)

【画像・マルチメディアの国際標準化動向】

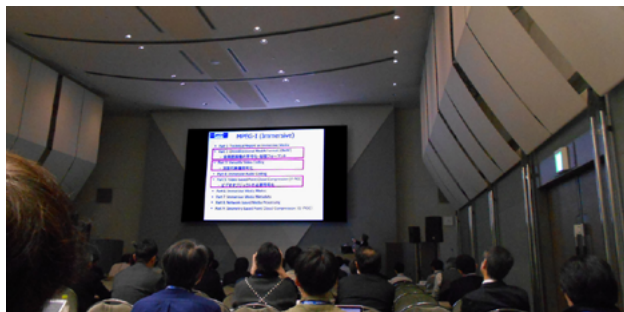
三菱電機株式会社 通信システム事業本部 技師長 浅井 光太郎 氏

特ラレポートでご案内している名古屋・東京地区でのホワイトスペース帯を用いた地上デジタル放送の高度化(4K・8K)に向けた実証実験の中で、目にしている4K・8Kを画像の標準符号化方式という観点で見聞出来ました。

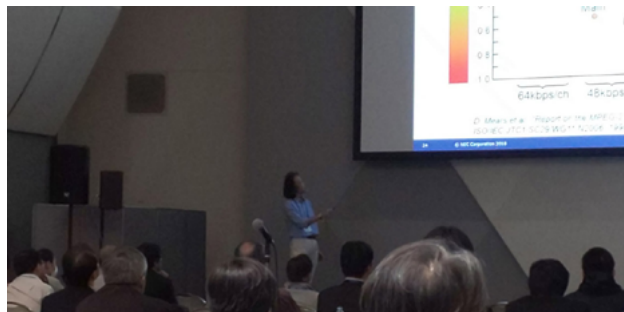
【オーディオ符号化の国際標準化：歴史、応用、動向】

日本電気株式会社 データサイエンス研究所 杉山 昭彦 氏

通信で最も基本的で、しかも重要な音声・オーディオにおいて、情報に合った表現に適用するためにMPEG-1、MPEG-2、MPEG-4、MPEG-Hと標準も発展していき、各規格ごとに圧縮技術の進化があることについて、少しですが、理解を進めることが出来ました。



「画像・マルチメディアの国際標準化動向」

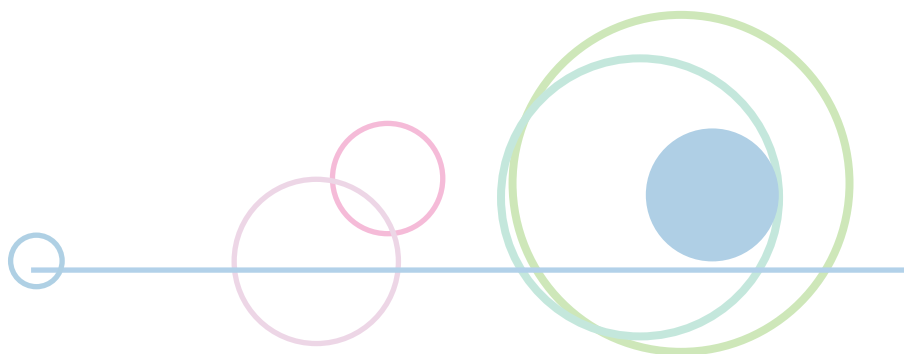


「オーディオ符号化の国際標準化：歴史、応用、動向」

■ Inter BEE2018 見学報告 ～新人研修～

11月15日(木)、初めてInter BEEに参加をして、色々なメーカーの最新機器を見ることができ、非常に有意義な1日になったと思います。各ブースを見て回る中で特に私が感動した点は、4K8Kテレビとヘッドホンでした。最近のテレビは画質が良く、精細な映像ですが、4K8Kはそれ以上に綺麗で迫力も満点でした。ヘッドホンも実際に聴いてみると、私が知っているヘッドホンより音がずっとクリアで、臨場感溢れるサウンドを楽しむことができました。他にもVRを使用したバイクの運転やマイクなど学ぶことが多く、良い刺激を受けて大変勉強になりました。

今回初めての見学を通じて、日常の業務に対する見方や考えが多少ですがイメージすることができました。今後も映像や音響についてより知識、理解を深め、業務に役立てられるよう努力したいと思います。(片川)



マラソン、駅伝・イベントの情報

2019年元旦、第63回全日本実業団対抗駅伝競走大会（ニューイヤー駅伝）が始まり、2日・3日が、第95回東京箱根間往復大学駅伝大会マラソンと、忙しくなります。

ラジオマイクを使用する際には、**早めの運用連絡（日・祭日を除く2日前までが原則ですが、大規模な展示会等ではさらに運用調整が複雑になるため余裕をもって）**をお願いいたします。

マラソン、駅伝は（公財）日本陸上競技連盟の『2018年度主要競技会日程』から、イベントは各会場のイベントカレンダー等から主なものを拾ってみました。平成30年1月中旬～3月中旬までのものです。

◎マラソン・駅伝

日 程	競 技 会 名	場 所
1 月 13 日	第 37 回 都道府県対抗女子駅伝	京 都（京都）
1 月 20 日	第 24 回 都道府県対抗男子駅伝	広 島（広島）
1 月 27 日	第 38 回 大阪国際女子マラソン	大 阪（大阪）
2 月 3 日	第 68 回 別府大分毎日マラソン	大 分（大分）
2 月 17 日	第 53 回 青梅マラソン	東 京（東京）
3 月 3 日	東京マラソン 2019	東 京（東京）
3 月 10 日	第 74 回 びわ湖毎日マラソン	滋 賀（大津）
3 月 10 日	名古屋ウィメンズマラソン 2019	愛 知（名古屋）

◎イベント

日 程	展 示 会 名	会 場
1 月 19 日～ 20 日	次世代ワールドホビーフェア '19 Winter 名古屋大会	ナゴヤドーム
1 月 26 日～ 27 日	次世代ワールドホビーフェア '19 Winter 東京大会	幕張メッセ
1 月 26 日～ 27 日	ジャパン・アミューズメント・エキスポ 2019	幕張メッセ
1 月 29 日～ 2 月 1 日	E N E X 2019	東京ビッグサイト
2 月 1 日～ 3 日	ジャパン・キャンピングカーショー 2019	幕張メッセ
2 月 9 日～ 11 日	大阪オートメッセ 2019	インテックス大阪
2 月 17 日	次世代ワールドホビーフェア '19 Winter 大阪大会	京セラドーム
3 月 5 日～ 8 日	FOODEX JAPAN 2019	幕張メッセ
3 月 5 日～ 8 日	リテールテック JAPAN 2019	東京ビッグサイト
3 月 5 日～ 8 日	SECURITY SHOW 2019	東京ビッグサイト
2 月 13 日～ 15 日	第 53 回スーパーマーケットトレードショー 2019	幕張メッセ
3 月 15 日～ 17 日	第 19 回 JAPAN ドラッグストアショー	幕張メッセ
3 月 22 日～ 24 日	ジャパングolfフェア 2019	パシフィコ横浜

♪ ルールを守って クリアな運用 ♪

名古屋:11月20日開局**東京:12月3日開局**

地上テレビジョン放送の高度化(4K・8K)に向けた実証実験の電波を発射しています!

名古屋・東京 両地区の実験試験局の開局に ともない実証実験が開始されました。

名古屋地区では、TVホワイトスペース帯の UHF 35ch を使った電波が、名古屋市昭和区の東山局および、愛知県弥富市の鍋田局から発射されています。この実験試験局の免許は、平成 30 年 11 月 20 日に東海総合通信局から付与されました。

期間中に、名古屋地区でTVホワイトスペース帯の 35ch および隣接する 34・36ch の運用を計画されている会員は、特ラ機構事務局へご相談下さい。

東京地区では、東京タワーから UHF 28ch を使用して、電波が発射されています。この 28ch は 10 月 30 日まで放送大学が使用していたチャンネルであることから、特定ラジオマイクへの影響は無いと思われます。この実験試験局の免許は、平成 30 年 12 月 3 日に関東総合通信局から付与されました。

名古屋・東京地区ともに電波発射スケジュールに関しては、下記「地デジ高度化実験受信対策センター」のホームページをご確認下さい。なお、本実験の終了日は平成 31 年 3 月末日を予定していますが、詳細は下記ホームページにてご案内いたします。

<http://www.tvkoudoka.jp/>

当機構ホームページに開設されている「地デジ4K・8K実験試験局情報」でも、電波発射スケジュールや運用調整など特定ラジオマイクに関連する情報をダイレクトにお伝えしておりますので、ご活用下さい。

<https://www.radiomic.org/>



特ラ機構 第18回技術賞

受賞者コメント



一般部門 金賞

「猫は抱くもの」受賞に関して

この度は私が参加した作品を特ラ機構の作品賞に選んで頂き誠に光栄です、有り難うございました、此の小文をもって作品の紹介と録音に関する感想を述べたいと思います。

映画「猫は抱くもの」はキノフィルム制作、ADK アーツ製作の劇場用映画作品です。

公開は2018年6月23日全国ロードショーで公開されました。

本作は大山淳子さんの原作を高田亮脚本により犬童一心監督がメガフォンをとり2017年10月末から約40日間の撮影期間で撮影が行われました。主演は沢尻エリカ、吉沢亮、劇版音楽も手掛けた「水曜日のカンパネラ」のコムアイさんらのキャストによるちょっと不思議な作風の映画です。

物語は捨て猫の「良夫」と元アイドルで今はスーパーでレジ打ちのバイトをしているサオリを中心に廻っていきます。本作がユニークなのは、個性的な猫を人間が演じているということです。

そして、猫たちが出ているシーンはほぼ舞台上にセットを組んでいます。舞台は前橋市にある群馬会館という昭和初期に立てられた歴史的建造物にある劇場にシーンに合わせてセットを作り、何箇所かのセットを俳優が移動しながら、芝居が続くという舞台転換が映画ならではの工夫をしています。

ここではカメラも3台を同時に廻すため、どうしてもワイヤレスのボディパックに頼らざるを得ませんでした。特に猫捨て橋という河原に見立てたセットでは最大で12波のワイヤレスマイクを使用しました。

また、整音の際も猫を演じている俳優の舞台上の足音などのアクションノイズを極力抜いて後から効果部による猫の柔らかい音に差し替えています。

このような音創りのためにもワイヤレスマイクによる各自のトラックをきちんと録音して行くことが重要でした。そのためにはやはりA帯域のワイヤレスマイクのシステムは混信の心配も無く安心して多チャンネルを使えました。

私の所属するサウンドデザインユルタはイタリア製のWizcomというワイヤレスのシステムを採用していますが、ボディパックも小さく、ノイズも少なく重宝しています。

この場を借りて特ラ機構の益々のご発展をお祈り申し上げ、受賞のお礼に返させていただきます。



一般部門 金賞の盾

(株)サウンド・デザインユルタ 志満 順一 (J.S.A)



特ラ機構 第18回技術賞

受賞者コメント



学生部門 金賞・八幡賞

タイトル 「Left Alone」

今回「Left alone」という作品の音作りをするにあたり苦悩した点をこの場を借りて少しだけお話ししたいと思います。

苦悩した点、それは作品の9割の撮影をゼネを使って撮影した事、映画の中での音楽の使い方、山の中・小屋の中という状況を理解した音作り、この3点です。

約11日間岐阜の山の中にある小屋で撮影し、電源がないためゼネを使用しました。しかしこの作品で重要なのは緊迫感のためなるべく現場でゼネの音が入らないように工夫するのは勿論、ポスプロの段階で消すのが難しい時はワイヤレスの音とガンマイクの音をうまく使ってバランスを取るように努力しました。

10分の作品で10曲ほどの音楽を使用したのは、10分作品の中で繰り返し10分間のストーリーをいかにテンポよく強弱をつけながら話が展開できるかにこだわったからというのが理由の一つでもあります。そのためこの曲のこの部分だけを使いたい、などと考えるのは難しかったため監督の編集の段階で先に決めた音楽もありました。

山の中という状況を考えた演出の一つに、携帯の電源が切れるという場面で電源が切れるだけではなく電波が繋がりにくいという音も作りました。小屋の中という状況と外に出た時の開放感を音で演出したく、小屋の中では少しリバーブをきかせ響くようにし、外に出た時との違いをだしました。

まだまだ苦悩した点がありますが上記の3つは特にこだわったところでもあります。

監督、撮影の2人と協力し10分という短い映画でも皆様に評価されているいろいろな方に観ていただける機会を得られたことに本当に感謝申し上げます。

大学4年生になった今年度も同じ3人で協力し30分の卒業制作も作っているのです是非また皆様に観ていただける機会を得られるように努力して参りたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

今回は学生部門金賞・八幡賞を頂き、誠にありがとうございました。



前田瑠香さん

日本大学芸術学部映画学科 4年 前田瑠香



特ラ機構 第18回技術賞

受賞者コメント



学生部門 奨励賞

タイトル「あなたのひかる」

この度は卒業制作でこのような賞を頂き大変嬉しく思います。

この作品は役者自身がカメラを回すという方法をとって撮影を行いました。劇中にはカメラを回す女の子の隣にいつも録音部として彼女の手助けをする男の子がいます。実は現場では彼にも本番中に自身で録音機を回してもらい、仕上げ時に実際にその音を数カ所で使用しました。役者とスタッフが境目を越えながらひとつの映画を作るという取り組み方がそのまま映像や音の雰囲気に影響している気がしています。

音の仕上げの際は同録のセリフをぼかしたりノイズを乗せたりしてドキュメンタリーのように撮られた映像に合う音を目指しました。今まで自分が映画の整音でやってきた作業とは逆のことをするようで新鮮だったと同時に音の汚しのさじ加減に悩みました。不快なノイズは取り除きたいけれど綺麗にしすぎると途端に味気が無くなるような感覚でした。正解の音を見つけるのがとても難しい映画でしたが自分にとって新しい音作りを見つけさせてくれた大事な作品です。この作品の完成のため力になってくれた方々と大学の先生方に感謝します。



学生部門 奨励賞の盾

日本大学芸術学部映画学科卒 渡部 未佳

ちょっとブレイク

～ 旅は楽しい ～

2018年10月に入局しました片川泰成と申します。徐々にですが業務に慣れ始めてきたと感じています。さて、初めてのちょっとブレイクの執筆となりなにを書こうか中々悩みましたが、今回は旅について書こうと思います。しっかり計画して準備をする旅行ではなく、無計画に気の向くままに旅をするのが私のスタイルです。

そんなの何がおもしろいのか？と思う方が多いと思いますが、これが案外おもしろいのです。どんな出会いがあるのだろうか？どんな絶景が見られるだろうか？全ては行ってみてのお楽しみ。スリルといえるかもしれません。それが楽しみでよく“旅”にでかけます。

最近はバック旅行やツアーなどが盛んですが、私は冒険するのが好きなので、あえて利用しない

ようにしています。短い時は2～3泊、長い時は2週間ほどの日程で行くことが多いです。国内はほぼ制覇したので、これからの行先は海外です。日本の常識や文化と異なる国々でこの無鉄砲な旅を達成することが目標です。特に行ってみたい国はアフリカです。まだまだ自然が多く、色々な民族が暮らしている中で得られる発見や喜びは何にも得難いものだと思います。

現代はIT化が進みより快適・便利・効率が優先され、ゆとりを持つことが難しい時代となってきました。こんな時代だからこそ自分を見つめ直し、じっくり心も体もリフレッシュすることが大切ではないかと思っています。

(片川)



インフォメーション

文化庁・公益社団法人全国公立文化施設協会が主催する研修会のお知らせ

**★「全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会 2019」
2019年2月6日(水)～8日(金) 実施の申込受付が開始されました！**

「全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会 2019」の舞台技術関連講座として、2/7(木) 13:00～15:00「特定ラジオマイクの運用とこれからの課題－劇場で使うワイヤレスマイクの現状を知り、歴史と未来を探る－」を開講します。

その他、多岐にわたる講座が開講されますので、興味のある方はご参加下さい。どなたでも受講できます。申込は先着順ですのでお早めに！

◎全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会 2019

開催日程：平成31年2月6日(水)～8日(金)

募集期間：平成30年12月5日(水)～平成31年1月17日(木)

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京・代々木）

基調講演：「日本における文化と観光」

デービット・アトキンソン（（株）小西美術工藝社 代表取締役社長）

ファイナルプログラム

「コンドルズの活動から」

近藤良平（コンドルズ主宰）

上記の他、アートマネジメント関連講座（14プログラム）、

舞台技術関連講座（5プログラム）、

人材養成基礎講座（5プログラム）を実施いたします。

▼ 詳細は募集パンフレットをご覧ください ▼

https://www.zenkoubun.jp/training/pdf/h30_art_tec/boshu.pdf

▼ お申込みはこちらから ▼

<http://www.zenkoubun.jp/training/art.html>



事務局員年頭挨拶



明けましておめでとうございます。

周波数移行は完了し、TVWS 帯、1.2GHz 帯での業務が日常になりました。本年は、この周波数帯域でさらに利便に富んだ運用とクリアな環境作りをするための努力を要する年だと思います。セミナーや勉強会の実施も検討していますので、ご協力の程よろしくお願い致します。皆様の一年が、明るい年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

(木村)

新年あけましておめでとうございます。

2018 年の世相を表す一字は「災」でした。それだけ自然災害の多い 1 年だったわけですが、社会が暗くなるような大きな出来事があると、特定ラジオマイクの運用も減ってしまう印象があります。2019 年は会員様からの運用連絡が激増するような、明るく輝かしい 1 年となるよう祈念して、日々の運用調整業務を頑張ってまいります。

(石川)

謹賀新年

今年度より総務省 TVWS チャンネルリストの維持管理など、今まで以上に責任が増えました。チャンネルリストで何かお気付きの点がありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

(甲田)

新年明けましておめでとうございます。

2019 年も引き続き宜しくお願い致します。

(松崎)

あけましておめでとうございます。

2018 年 4 月より本格的に無線局免許の各種業務に携わっております。平成 31 年の再免許の対象になる会員様が非常に多いので、きちんと抜け漏れがなく、再免許申請を完了し、引き続き会員様が当たり前特定ラジオマイクを使える環境を免許の面からお手伝い出来るよう、努めてまいります。

(坂入)

新年あけましておめでとうございます。

特ラ機構に入局して早くも 2 カ月が経ちました。日々の業務は運用調整が中心ですが、まだまだ勉強することが沢山あり、学生時代に戻ったような感覚になりました。

昨年は世間を騒がせたニュースが多々あり激動の 1 年となりましたが、今年は変化に負けずに業務に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

(片川)

あけましておめでとうございます。

己亥の年、成熟した組織が足元を固めて次の段階を目指す準備をする年、人材育成や設備投資、財務基盤を固めるなど、内部の充実を心がけると良い年だそうです。自分を振り返ってみると、新たに足りない部分を補うより、今までの蓄積の中から次の段階に発展できそうな部分が、もし見つければ、その方面により時間を割き、努力して過ごすといったことを今年の目標として、“ウリ坊”とは逆のゆったりしたペースで物事に対処できれば良いのかな?などと思っております。

皆様のご健勝ご発展をお祈り申し上げますとともに、本年も特ラ機構をどうぞよろしくお願いいたします。

(中島)

明けましておめでとうございます。

2019年、元号(年号)が平成から何に変わるのか?気になるところですが、年頭にあたりいつもながら「ルールを守って クリアな運用」を心がけたいと思います。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

(武藤)

あけましておめでとうございます。

あけましておめでとうございます。運用連絡の登録業務を担当しています。皆様にお問い合わせすることもあるかと思うので、その際はよろしくお願いいたします。

(吉田)



事務局便り



■平成 30 年度機構関係費用のお振込みをお願いします。

平成 30 年度決算期日が間近になりました。

毎年のお願いです、機構関係費用が未納の会員社はお振込みをお願いします。

未納の有無をご確認ください。

※ 31 年 1 月頃に、未納のある会員社に「残高確認書」を送付させていただく予定です。

お手元に届きましたら内容をご確認の上、至急お振込をお願い致します。

前年度よりの未納がある場合は合わせてお振込みください。



編集後記

この年末に来て体調不良となり人生初めての入院を余儀なくされました。

レポート 166 号の編集作業が心配でしたが、事務局全員に助けられ何とか発行することができました。やはり健康が一番、来年に向け体調を万全にして、頑張りたいと思います。

この 1 年ご協力いただきましてありがとうございました。来年も宜しくお願いいたします。

(武藤)